

2019年度事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日まで
 特定非営利活動法人小児がん・まごころ機構

1 事業の成果

(1) 永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みを確立するための活動支援として、小児がん拠点病院中央機関である国立成育医療研究センター小児がんセンターより依頼を受け、システムによる小児がん長期フォローアップ計画策定と連結可能なアプリ開発に着手し、検討及び実行可能性についての検証研究支援を行った。

また、日本における小児がん長期フォローアップの現状調査の支援活動を行った。

(2) 2018年8月、世界保健機構（WHO）が、がんの中で初めて小児がんを地球規模で解決すべき重要な課題として取り上げると宣言し、2018年11月に京都市で開催された第50回国際小児がん学会では「2030年までに、世界の小児がんの治癒率を60%以上に上げる。」と宣言した。この宣言を受け、本機構は、新たな取り組みとして、プロジェクトの成果をアジアへ発展させ、さらに、アジアでのWHOの宣言を実現するために、2019年本機構理事会の承認を得て、日本および最も多くの発展途上国を抱えるアジアの小児がんの課題に取り組むべく組織（アジア小児血液・がん治療研究グループ等）が円滑に連携し、機能していくための基盤作りの支援を開始した。

(事業費の総費用【2,145】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び	事業費の金額
小児がんの診断、治療に関する支援事業	アジアの小児がん治癒率を60%以上に上げるための関連機関における協力体制整備支援	2019年9月～2020年3月	東京都	16人	アジアの小児がん患者・経験者・家族	0
小児がん長期ケアに関する事業	システムによる小児がん長期フォローアップ計画策定と連結可能なアプリ開発、検討及び実行可能性についての検証研究支援	2019年4月～2020年3月	東京都	16人	日本の小児がん患者・経験者・家族	2,060
小児がん長期ケアに関する事業	日本における小児がん長期フォローアップの現状調査の支援	2019年4月～2020年3月	東京都 京都府 北海道 宮城県	16人	日本の小児がん患者・経験者・家族	85
小児がん長期ケアに関する事業	小児がん長期フォローアップの重要性にかかわる啓発活動(講演等)	2019年4月～2020年3月	佐賀県等	16人	日本の小児がん患者・経験者・家族 一般市民	0

2. その他の事業 実施なし